

4. 「やすらぎと潤い、人にやさしいまち」を実現するために

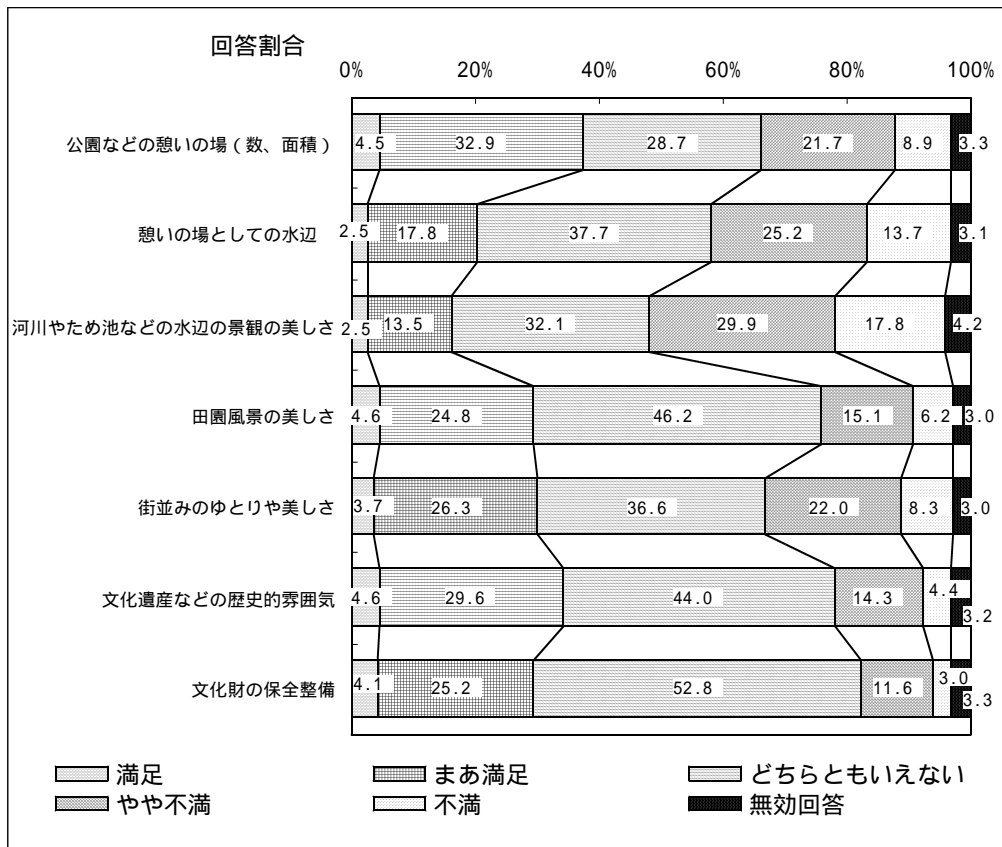
やすらぎと潤い、人にやさしいまち  
**緑や水が身近にあるまちづくり**

市街地の緑や水辺、オープンスペースは、身近な憩いの場を形成し、生活にやすらぎと潤いを与えてくれます。

住民1人当たり都市公園面積は2000(H12)年3月末現在約5.4m<sup>2</sup>であり、1999(H11)年に実施した住民アンケートによると公園等の憩いの場(数・面積)に対する満足度は低く、多くの人が本町の将来の望ましい環境にとって緑化が重要であると回答しています。

また、住民の要望として「小さい公園が複数あるより大きい公園」、「樹木の多い公園」、「周囲の景観と調和した公園」等、公園の数だけではなく、質の充実を求める声も多くなっています。また、「水辺の景観の美しさ」や「憩いの場としての水辺」に対して不満をもっている人が多くなっています。

そこで、やすらぎと潤い、人にやさしいまちの実現のため、市街地の緑化が進み、水と親しめる河川やため池のある、「緑や水が身近にあるまちづくり」を進めます。



快適環境に関する満足度  
 [資料：1999(H11)年住民アンケート]

やすらぎと潤い、人にやさしいまち

## 思いやりのあるまちづくり

「人にやさしい生活空間」という点では、誰もが安全に出かけることができ、公共施設、民間施設にかかわらず必要な施設を快適に利用できることが重要です。

本町においても、人の歩行や自転車走行のしやすい道路への転換や交通安全施設の質的な向上、各種施設におけるバリアフリー\*化等の配慮が求められています。

そこで、やすらぎと潤い、人にやさしいまちの実現のため、高齢者や障害者のみならず、すべての人が安全で快適に利用できる道路や施設のある、「思いやりのあるまちづくり」を進めます。

本町の公共施設におけるバリアフリー設備設置状況

	通路		主要な出入口	主な階段	エレベータ	トイレ	駐車場	案内表示
	有効幅員 1.4m以上	段差の 解消	玄関の 有効幅員 90cm以上	手すりの 設置	車椅子 対応	車椅子 対応	障害者用 駐車 スペース	高齢者・ 障害者等 への配慮
役場								
中央図書館								
文化の家								
総合福祉会館					×			-
杵ヶ池体育館					-			
高齢者生きがいセンター							-	
児童福祉センター		× /		/ -	-	×	×	-
西児童館					-	×	×	-
色金老人憩いの家	×	×	×	-	-	×	-	-
老人憩いの家 「さつき荘」		×	×	-	-	×	-	-
長久手郵便局		-		-	-	-		

注) 1. : 適合、× : 不適合、- : 設置無し

2. 段差の解消については、 : 適合、× : 不適合、- : 段差無し

3. 案内表示については、 : 点字表示がある、 : 点字表示はないが、わかりやすい、  
- : 設置無し

4. 児童福祉センター : 上郷児童館 / 簡易心身障害児通園施設 (すぎの子教室)

[資料 : 人にやさしい街づくり計画 (長久手町)]

### \*バリアフリー

高齢者や障害者等の生活や活動に不便な障害を取り除くことです。階段に手すりを設置する、スロープを設ける、通路の段差をなくすなどがあげられます。

やすらぎと潤い、人にやさしいまち

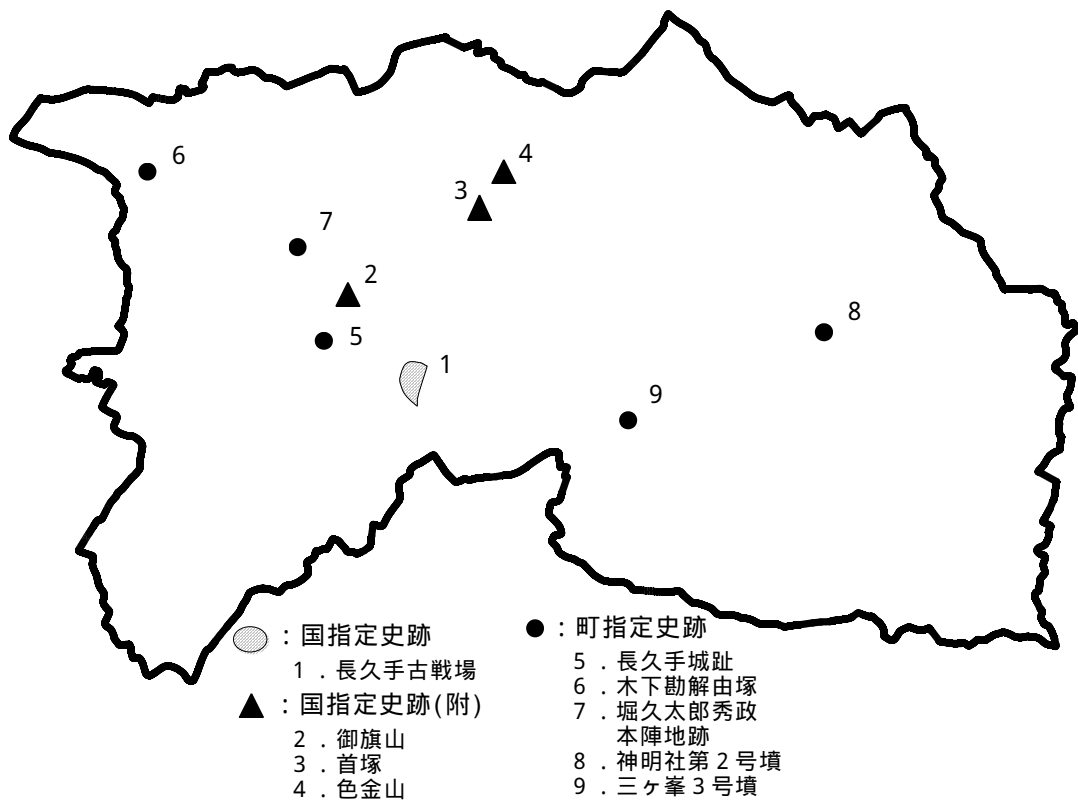
### 伝統や文化を大切にするまちづくり

本町は、戦国武将の両雄、羽柴秀吉（後の豊臣秀吉）と徳川家康の軍勢が、唯一直接対決した「小牧・長久手の戦い」の舞台となった場所です。この長久手古戦場は国指定の史跡であり、古戦場公園や色金山歴史公園として整備されています。

また、棒の手やオマント、警固祭り等の伝統文化も継承されています。

これらの歴史的文化的遺産や伝統文化を守り、伝えていくことは地域に対する理解や愛着につながり、よりよい環境づくりの原動力になります。加えて、伝統文化の継承を通じて、人と人のふれあいが育まれます。

そこで、やすらぎと潤い、人にやさしいまちの実現の一環として、伝統文化を継承する、「伝統や文化を大切にするまちづくり」を進めます。



指定文化財位置図

[資料：文化財マップ]

やすらぎと潤い、人にやさしいまち

**調和のとれたまち並みづくり**

まち並みは都市の快適さの一つの要因であり、地域の特性を生かした快適で魅力ある景観の形成が求められています。

本町の景観の特徴は、岩作丘陵から大草丘陵、三ヶ峯丘陵に至る一帯の自然環境豊かな緑の丘陵地景観、香流川周辺の農地とそれを囲む集落からなる穏やかな集落田園景観、西部地域の平坦地の低層住宅を中心とした住宅地の景観の大きく3つに分けられます。

丘陵地景観の豊かな樹林は、西部地域の市街地の緑の背景となり、集落田園景観とともに、潤いのある雰囲気形成する重要な要素となっています。また、市街化区域を中心に、図書館通りの景観整備事業の実施等、美しいまちづくりを目指した景観行政に取り組んでいます。

しかし、近年は農地の荒廃や丘陵の樹林の減少等により集落田園景観や丘陵地景観が損なわれ、幹線道路沿道では奇抜な色や形の商業施設や広告看板等が見られます。

そこで、やすらぎと潤い、人にやさしいまちの実現のため、都市景観のみならず田園や丘陵の景観も含め、長久手らしい、「調和のとれたまち並みづくり」を進めます。



図書館通り沿いの住宅地



岩作の農地



図書館通り